

～1班～

美女と野獣

舞台となる18世紀フランスは身分制度が厳しく、女性は社会的地位の安定のため、身分の高い男性との結婚を大切にしていました。ベルは当時としては珍しい自立心と知性を持った女性です。一方の野獣はその外見から人と距離を置き、孤独に生きていました。

この物語では、見た目や立場によって人が判断されてしまう社会構造が表現されており、人の本当の心を見ることの大切さが描かれています。

ベルをイメージした衣装では、ロココ期の宮廷で流行したコルセットを現代のトレンドであるボディースーツで表現しました。ジャケットは、リボンを取り入れ可愛い印象にしました。当時の装飾文化を表現するため、パールやビーズをあしらっています。

野獣をイメージした衣装では、当時のアビやブリーチズをショート丈のジャケットとハーフパンツで表現しています。ジャケットとボトムスは絞り染めや筆で叩くようにして染色しました。

①-1



◆担当アイテム：メンズ・レディース 帽子

◆使用素材：綿ツイル 白生地、綿サテン、麻 スラブ、シルク 平織

◇制作について

映画「美女と野獣」の舞台である18世紀フランスの、華やかな装飾やレース、フリルといった特徴を取り入れた帽子を制作した。

染色では華やかさが演出できるように、パーツごとに手法や色を変えて行った。全体で見た時に馴染みやすいように、淡い雰囲気の色合いになるように染色した。

レディースはハットの帽子、メンズは現代でも馴染み深いキャップにした。映画のモチーフとなるバラや縁取りを、ラメの入った糸で刺繍することで、当時の華やかで光沢のあるファッションに近づけることができた。

①-2



◆担当アイテム：ジャケット

◆使用素材：麻 スラブ、レーヨン タフタ

◇制作について

「美女と野獣」というテーマと現代のトレンドを組み合わせ、レディースのジャケットデザインを考えた。短めの丈感で、後ろには大きなりボンを付けた。袖はパフスリーブにし、袖口に向けて広がるようなデザインにした。

縫製作業では、丁寧に縫うことを目標に取り組んだ。ふんわりとした形が出るパフスリーブにするため、しっかりとギャザーを寄せ、巻き込まないように、より一層丁寧に縫った。仕上げにパールやビーズ、レースをつけて細部までこだわって制作した。

①-3



◆担当アイテム：キャミインナー

◆使用素材：綿 天竺

◇制作について

物語の舞台背景や、当時のドレスに多く見られる花柄や装飾に注目し、特に貴族文化を象徴する繊細な模様やレース、パールを取り入れることで世界観を表現した。前面には編み上げレースを配置し、コルセットのようなクラシックな印象を持たせた。腰が見える丈感に設定することで、現代的でファッション性の高いデザインに仕上げた。

花柄の色はベルの優しさや華やかさを表現するため、ピンクに設定した。染色時はピンクが強くなりすぎないように調整し、柔らかく優しい印象になるよう工夫した。

①-4



◆担当アイテム：パンツ

◆使用素材：綿ツイル 生機

◇制作について

「美女と野獣」の野獣をイメージし、キャラクターの内面の変化を色で表現した。野獣が生きる城の暗闇や孤独感を、深い緑や青の濁りのある色彩で表した。全体をムラ染めのような表情にすることで、野獣の荒々しさと人としての温かさが混ざり合う過程を表現した。暗さの中に差し込む光を意識し、物語性のあるデザインに仕上げた。

シルエットは野獣の力強さを意識し、ボリュームのあるワイド型を採用した。前後で色の見え方が変わる構成とし、歩いたときにも表情が生まれるデザインにした。ウエストにはゴムを使用し、日常でも着用しやすい実用性を持たせている。

①-5



◆担当アイテム：スカート

◆使用素材：綿サテン、レーヨン タフタ

◇制作について

18 世紀フランスのドレスをモチーフとして制作した。この時代のドレスは、スカートにボリュームがあり、布が重なり合う構造が特徴であるため、ティアードスカートのデザインを取り入れた。段の位置やフリルを細かく調整することで、歩いたときに動きが出るよう工夫し、ドレスらしいシルエットを目指した。

配色は物語の世界観を表現することを意識し、黄色でベルの明るさや前向きな性格を表現した。そこにピンクを加えることで、可愛らしさや優しさを取り入れ、全体の印象がやわらかくなるよう工夫した。

①-6



◆担当アイテム：ジャケット

◆使用素材：麻 スラブ

◇制作について

18世紀の男性服である「アビ・ア・ラ・フランセーズ」のコートをもとに、現代の服装と組み合わせてデザインした。襟はスタンドカラーを取り入れた。地味にならないよう、ボタンを多めに配置した。現代のトレンドであるショート丈にすることで、より今らしいアイテムに仕上げた。

色は野獣の毛並みに合わせて茶色を基調とし、野獣の野性的な一面を表現するために絞り染めを用いた。同じ茶色の中で濃淡を表現することに苦戦した。染色時間や染料の量を変えながら試行錯誤を重ね、最初は薄く染め、少しずつ色を重ねていった。

①-7



◆担当アイテム：シャツ

◆使用素材：綿 天竺

◇制作について

装飾を前立て部分に集中させ、物語における「心の変化が徐々に表に現れる」様子を表現した。柄は花をモチーフにし、美女を連想させる要素を取り入れた。左右対称に配置することで、物語性と視覚的な安定感の両立を意識した。

縫製作業では染色後の生地 of 風合いを損なわないように注意した。天竺特有の伸縮性を生かし、着用時のストレスが少ない仕立てを心がけた。袖口や襟ぐりにレースを取り入れることで、美女の繊細さを表現し、物語の要素をディテールとして落とし込んだ。